



OSPF エリア中継機能

OSPF エリア中継機能は、通常では仮想リンク パスを通過する必要がある転送トラフィックが、中継エリアを介してより短時間で通過できるパスを検出する機能を、OSPF エリア境界ルータ (ABR) に提供します。この機能により、Cisco IOS ソフトウェアは RFC 2328 に準拠したものとなります。

この章で紹介する機能情報の入手方法

お使いのソフトウェア リリースが、この章で説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。最新の機能情報および警告については、ご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。この章に記載されている機能の詳細、および各機能がサポートされているリリースのリストについては、「[OSPF エリア中継機能の機能情報](#)」(P.4) を参照してください。

プラットフォーム サポートと Cisco ソフトウェア イメージ サポートに関する情報を入手するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

この章の構成

- 「OSPF エリア中継機能について」(P.2)
- 「OSPF エリア中継機能をディセーブルにする方法」(P.2)
- 「その他の参考資料」(P.3)
- 「OSPF エリア中継機能の機能情報」(P.4)

OSPF エリア中継機能について

- 「OSPF エリア中継機能の動作」(P.2)

OSPF エリア中継機能の動作

OSPF エリア中継機能はデフォルトでイネーブルになっています。RFC 2328 では、OSPF エリア中継機能が、OSPF エリア自身において発信と着信のいずれでもないデータトラフィックを伝送するエリアの機能として定義されています。この機能により、OSPF ABR は中継エリアを介した短いパスを検出できるようになり、最適ではない仮想リンクまたは仮想パスを使用する代わりに、検出されたパスでトラフィックを転送できるようになります。

OSPF エリア中継機能の詳細については、次の URL にある RFC 2328 「*OSPF Version 2*」を参照してください。

<http://www.faqs.org/rfcs/rfc2328.html>

OSPF エリア中継機能をディセーブルにする方法

ここでは、次の手順について説明します。

- 「エリア境界ルータでの OSPF エリア中継機能のディセーブル化」(P.2) (必須)

エリア境界ルータでの OSPF エリア中継機能のディセーブル化

このタスクでは、OSPF ABR で OSPF エリア中継機能をディセーブルにする方法について説明します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `router ospf process-id [vrf vpn-name]`
4. `no capability transit`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<code>router ospf process-id [vrf vpn-name]</code> 例： Router(config)# router ospf 100	OSPF ルーティングをイネーブルにして、ルータ コンフィギュレーション モードを開始します。 • <code>process-id</code> 引数は OSPF プロセスを示します。
ステップ 4	<code>no capability transit</code> 例： Router(config-router)# no capability transit	OSPF エリア中継機能を、ルータが処理するすべてのエリアでディセーブルにします。

その他の参考資料

関連資料

関連項目	参照先
OSPF の設定	「 <i>Configuring OSPF</i> 」の章

規格

規格	タイトル
なし	—

MIB

MIB	MIB リンク
なし	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェア リリース、および機能セットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

RFC

RFC	タイトル
RFC 2328	「 <i>OSPF Version 2</i> 」

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクニカル サポートを受ける ・ソフトウェアをダウンロードする ・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける ・ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> - Product Alert の受信登録 - Field Notice の受信登録 - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索 ・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する ・トレーニング リソースへアクセスする ・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>

OSPF エリア中継機能の機能情報

表 1 に、この機能のリリース履歴を示します。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースによっては、コマンドの中に一部使用できないものがあります。特定のコマンドに関するリリース情報については、コマンド リファレンス マニュアルを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注)

表 1 には、一連のソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入されたソフトウェア リリースだけが記載されています。その機能は、特に断りが無い限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。



(注)

Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのソフトウェア イメージは、Cisco IOS Release 12.0(27)S1 まで延長されました。

表 1 OSPF エリア中継機能の機能情報

機能名	リリース	機能情報
OSPF エリア中継機能	12.0(27)S 12.3(7)T 12.2(25)S 12.2(27)SBC 12.2(33)SRA 12.2(33)SXH Cisco IOS XE 3.1.0 SG	OSPF エリア中継機能は、通常では仮想リンク パスを通過する必要がある転送トラフィックが、中継エリアを介してより短時間で通過できるパスを検出する機能を、OSPF エリア境界ルータ (ABR) に提供します。この機能により、Cisco IOS ソフトウェアが RFC 2328 に準拠したものとなります。 次に示すコマンドは、この章に記載されている機能において、新たに導入または変更されたものです。 <ul style="list-style-type: none"> • capability transit

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2004–2010 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2004–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

